

日本劇作家協会 2025年度(令和7年度) 事業計画

1. 育成、コンクール、セミナー
 - ①第31回劇作家協会新人戯曲賞
6月2日～7月1日 作品公募
7月～11月 一次審査、二次審査
11月下旬 最終審査会(非公開)、受賞作発表
※戯曲集の出版は行わず、最終候補作を協会 Web サイトで期間限定で公開
12月下旬 授賞式(オンライン開催)
 - ②戯曲セミナー
対面コース(於 座・高円寺):7月～3月 全30回 →オンライン聴講コースも併設
 - ③長編戯曲改稿講座(芸文振助成事業)
7月～10月にオンライン講座を行い、その後、リーディング発表会を開催予定(関西支部担当)
2. 普及、ワークショップ、シンポジウム
 - ①ドラマリーディングのワークショップ(芸文振助成事業)
 - ◎東京
1)改稿サポートする輪。:6月、7月、9月、12月、1月にリーディングのワークショップを開催(於 座・高円寺)
 - ◎大阪
1)月いちリーディング:6月と時期未定の計2回、リーディングのワークショップを開催(於 ACT cafe)
 - ◎九州
1)月いちリーディング:12月(北九州市)、2月(熊本市)にリーディングのワークショップを開催
 - ◎東北
1)月いちリーディング:11月(盛岡市)にリーディングのワークショップを開催
3. 劇作家フェスティバル
 - ①劇作家フェスティバル2025「げきじゃ!」を開催
→岡山市で10月31日～11月3日(於 岡山芸術創造劇場ハレノワ)
4. 出版
 - ①戯曲オンデマンド出版の販売と調査、検討を継続して行う
 - ②会報の発行:従来型の会報『ト書き』を発行する
5. 調査、資料収集、アーカイブ
 - ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)への協力を継続
 - ②戯曲デジタルアーカイブの運営を継続
 - ③戯曲デジタルアーカイブ掲載作品の追加、ならびに、システム新機能追加事業を実施予定(EPAD 委託事業)
6. 協力、パートナーシップ
 - ①鶴屋南北戯曲賞への協力継続
 - ②日本劇作家協会プログラムなど、座・高円寺の企画・運営についての助言、サポートの継続
 - ③障がい者の観劇支援活動を行っているシアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)への協力を継続
7. 国際交流
 - ①戯曲の英訳とアーカイブ掲載(芸文振委託事業)
現代日本戯曲を英訳して戯曲デジタルアーカイブに掲載する事業に着手
 - ②各国の劇作家ならびに諸団体との交流継続
 - ③日韓演劇交流センターへの参加を継続
8. 高校演劇
 - ①大会審査員講評ガイドライン作成(研究)
 - ②外部指導員の指導等、劇団や劇作家協会全体との連携のガイドライン作成(研究)
 - ③震災高校演劇アーカイブ継続
9. 著作権・上演料
 - ①戯曲の著作権全般についての調査、対応を継続
 - ②著作権に関する講習会やシンポジウムなどを予定
 - ③公演規模に応じた最低上演料の検討を行い、その提言を公的機関などに働きかける
10. ハラスメント
 - ①「ハラスメント防止ガイドライン」「ハラスメント防止講習」に基づき対応する
 - ②ハラスメント防止講習を講師向け・役員向け・会員向けに実施する
11. 支部
 - ①北海道、東北、東海、関西、中国、九州、沖縄の支部ごとに事業を計画、実施
12. その他
 - ①文化庁新進芸術家海外留学制度研修員募集への対応を継続
 - ②評議員選挙の実施